

平成25年2月6日  
総務局

東京都防災会議地震部会(南海トラフの巨大地震に係る検討 第5回)  
議事概要について

1 地震部会の概要

日時：平成25年1月28日(月) 10:00~12:00  
場所：東京都庁第一本庁舎南塔33階 特別会議室S2  
出席者：平田部会長、中林部会長代理、加藤委員、佐竹委員、久田委員、  
翠川委員  
宮寄危機管理監、村松総合防災部長、箕輪企画調整担当部長、  
臼井計画調整担当課長ほか

2 議事概要

南海トラフの巨大地震による被害想定に関し、各委員から下記のとおり意見が出された。

<長周期地震動と津波浸水等について>

- 長周期地震動で、多少パラメータを変えると、どのくらい計算結果が変わるのかを検討し、どの程度安定した結果なのかということを確認した方が良いと思う。
- 津波高は、海岸線での値を出すのが妥当であるが、最大値一つで代表するのは危険ではないか。人の住んでいるところが一番重要だと思うので、人や建築物の存在する場所の津波高さを出した方が良い。
- 津波高については、住民が対策を考えるために、最悪の結果ではない場合も示すなど、分かりやすい表現方法で公表することが必要なのではないか。
- 津波到達時間をどのように示すかは、避難も考えての検討が必要と思う。

<想定手法等について>

- 島しょ部は建物数が少ないので、定量的な被害を計算することの意義は小さい。
- 定性的になるかもしれないが、津波が来るまでに、とにかく高台へ避難できるような家具転倒への備えが必要となることも工夫して示すべきである。
- 長周期地震動で超高層ビルがよく揺れるようであれば、定量的には難しいかもしれないが、少なくとも高層階の火災を定性的に扱う必要があるのではないか。